



EPADsスペースエレクトロニクス実装技術研究会主催 2025年度 第1回公開研究会

◆公開研究会のご案内

部品内蔵技術委員会(EPADs)スペースエレクトロニクス実装技術研究会の本年度第1回の公開研究会を2025年11月10日(月)に開催いたします。研究会テーマは、「宇宙機器に使用される基板等の電子機器の信頼性および宇宙産業の現状」です。5名の講師による講演を実施します。是非ご参加ください。

開催日時 2025年11月10日(月) 13:10~17:15

開催方式 現地開催 & WEB (Zoom Webinar利用) ハイブリッド

開催場所: 回路会館地下1F会議室

※参加URL等の聴講情報は、申込受付時のメールにてご連絡致します。

13:10~13:30

オープニング

開会挨拶 スペースエレクトロニクス実装技術研究会での活動内容(電子部品・実装技術の宇宙適用ガイドブック発行に向けた活動)等の紹介

スペースエレクトロニクス実装技術研究会 主査 中山 聡

13:30~14:20

講演① 基調講演

「宇宙産業の「裾野拡大」を加速する:学習用キューブサットモデルに見る汎用部品の宇宙適用性」
デジタル化推進アカデミー

代表 岩田 敏彰 様 [現地講演]

<概要>

マイコンにESP32 WROVER CAMを搭載した学習用キューブサットモデルを通じたセンサ利用・プログラミング教育を紹介する。この地上利用を前提としたモデルを宇宙で活用するため、真空、熱、放射線、振動といった過酷な環境課題を検討する。すでに行われている試験結果を基に、低コスト汎用部品の宇宙適用の可能性を探る。これにより、宇宙産業の裾野拡大に貢献する人材育成の重要性を提言する。

14:20~15:00

講演②

「宇宙空間での実験用衛星打ち上げ等の事業に関する当社の取組み(仮題)」

株式会社 ElevationSpace

COO 宮丸 和成 様 [web講演]

<概要>

日本が世界に誇る「再突入・回収技術」で、宇宙実験の成果を地球に持ち帰る事業、宇宙環境利用・回収プラットフォーム「ELS-R」と、地球低軌道拠点からの物資回収サービス「ELS-RS」について紹介する。さらに民間プロジェクトとして日本初となる2026年後半以降に打ち上げ予定の220kg級再突入衛星「あおば」について紹介する。

(休憩 15分)

15:15~15:45

講演③ 「小型人工衛星打上げロケットZERO アビオニクス機器の開発」

インターステラテクノロジズ(株)

開発部 アビオニクスグループ

竹政 哲 様 [現地講演]

<概要>

近年、通信衛星を筆頭に中小型衛星の打ち上げ需要が急増しているが、需要に見合う打上げ手段が無く、我が国においても人工衛星を軌道投入するためのロケットの高頻度の打上げが求められている。

本講演では、インターステラテクノロジズで開発している小型人工衛星打上げロケットZEROのアビオニクス機器開発の事例や、民生部品を適用するにあたって信頼性を確保するための戦略を紹介する。

15:55～16:35

講演④「有人と圧ローバーの概要と部品適用方針の検討状況のご紹介」

JAXA(宇宙航空研究開発機構)

社会インフラグループ

有人部門 有人システム安全・ミッション保証室

主任研究開発員 東野 勇 様 [現地講演]

<概要>

人類の恒常的な活動領域が深宇宙に拡大することを目指し、アルテミス計画の一部として日本では月面を走行する有人と圧ローバーの開発を行うこととなった。現在JAXAでは上記実現のため、国内メーカーと協力してローバーで使用する電気部品の技術的検討を実施中である。本講演は、有人と圧ローバーの開発状況と今後の見通し及びそこで使用する電気部品に関する最新の検討状況について紹介するものである。

16:35～17:15

講演⑤「真空環境下の排熱に対応したプリント配線板の開発」

沖サーキットテクノロジー(株)

マーケティング部

部長 飯長 裕 様 [web講演]

<概要>

高速 高周波が止まらない、電子機器の世界であるが、宇宙における、装置機器も全く同じである。昨今 衛星ネットワーク 高精度のセンシング等 要求されるため、より発熱の高い デバイスを搭載している。宇宙の環境において信頼性をたもちながら、排熱・放熱に対応する基板を紹介する。

※プログラムは変更になることがありますので、ご了承ください。

参加要項

定 員 回路会館地下1F会議室:50名(先着申込順 定員になり次第締め切ります)
WEB (Zoom Webinar): 200名(先着申込順 定員になり次第締め切ります)

参 加 費(消費税込み)

正会員:5,000円、学生会員:1,000円、研究会会員:別払い、シニア会員:2,000円

名誉会員:無料、賛助会員の社員:5,000円、賛助会員(クーポン利用):無料

非会員一般:10,000円、非会員学生:2,000円、協賛団体(JPCA会員):5,000円

注意事項(参加方法)

- ①申込が受理されますと、返信メールで 公開研究会への参加 URLやお支払いに関する情報をご連絡致します。
- ②ご申請の手順に従って、参加費のお支払いをお願い致します。

(お支払い方法:クレジットカード決済またはコンビニ決済のみ)(手数料学会負担)

- ③領収書(宛名会社名選択可)のご発行は、返信メールのマイページから決済後に即日出力が可能です。
- ④WEBの領収書が原紙扱いになりますので、ご了承ください。
- ⑤賛助・特別クーポンは、1枚/1口まで(複数口の場合は口数分)利用可能です。申込時にクーポン番号等の全項目を記入しないと、利用できません。※複数枚使用希望がある場合はお問い合わせください。

* キャンセルポリシー

お申込み後のキャンセルはできません。

下記から参加申し込みをお願いします。

会員

賛助会員

協賛会員

非会員

※クーポン使用の場合は「クーポン利用」をご選択ください。

問い合わせ先 一般社団法人エレクトロニクス実装学会
E-mail: info@jiep.or.jp(メールアドレスは¥を@に置き換えてください)